



東原小キャラクター「かめっち」

校長室の窓から



座間市立東原小学校
電話 253-3145

先日は、書き初め展にご来校いただき、ありがとうございました。3学期は、あっという間に過ぎていきます。進学・進級に向けて前向きな気持ちで過ごせるよう、教育活動を進めていきたいと思えます。2月には、今年度最後の授業参観がありますので、ぜひ、ご参観ください。(下の写真は、5年生がアーン小学校を訪問したときの様子です。)



子どもたちの登校の見守り

朝は大変！ 旗当番も大変！

我が子が保育園・小学校時代、朝はいつもバタバタしていました。保育園時代には、些細なこと(あの靴下じゃなきゃダメー！など)で計画していた時間がずれていきました。小学生時代には、旗当番をしてから、大急ぎで自転車を走らせました。雪の日に当番が当たり、早めの出勤をして雪かきをすることができず、上司に嫌な顔をされてしまったこともあり。今、みなさんの朝が慌ただしく大変だということは、自分も経験したことなのでよくわかります。来年度からの登校時刻を10分遅らせることで、お子さんを見送れない、旗当番をしてからだに間に合わないなどのことがあるかと考えられます。その部分は、非常に悩んだ部分です。

教職員の働き方・・・

それでも、10分遅らせる登校を決定していた経緯には、PTA 本部さん・地区委員さんが教職員の勤務時間を気にかけてくださったところがあります。教職員の出勤時刻は8:15です。それなのに、子どもたちが8:00前から登校していることを心配してくださいました。教職員にもそれぞれ生活があることまで考えてくださったことをとてもうれしく思いました。

仕事との両立も大変！でも、協力体制で！

私自身の仕事では、旗当番の関係で気まずい思いもしましたが、子育てで大変な時期には、「返せるときに他の人に返せばいいんだよ。」と支えてくださった人がいました。仕事を持ちながら、自分や地域の子どもたちのために動くということはリスクが伴います。職場の理解ということも欠かせなくなります。理解ある職場ばかりではないと思います。それでも、我が子や地域の子どもたちのために、他人任せにしないで取り組もうとする気持ちはとても大切ではないかと思っています。

登校についての役割

学校評価アンケートのまとめにも書かせていただきましたが、子どもたちの安全の確保は保護者の役割、子どもたちへの指導や保護者・地域との連携は教員となっています。しっかり線引きするものではありません。勤務時間前でも、登校班にトラブルがあるときには様子を見に行きますし、怪我の連絡があれば、すぐに駆け付けています。でも、我が子のために、まず保護者のみなさんが登校の安全を大事にすることが大切ではないかと思っています。学校もより良い改善のために努力したいです。